

**本園の教育
目標**

幼稚園に係るすべての人が成長と喜びを感じることの出来る幼稚園にすることを目標としている。豊かな自然の中での幼児の遊びを通しての教育を目標としている。幼児が自分で考え選択し行動できる教育を目標としている。

本年度の重点的に取り組む目標

- ① 本園の教育目標「共生」を基にした保育計画に基いた保育を実施する。
- ② コロナウイルス感染症予防の実施。
- ③ 自園給食を通して食育に取り組む。
- ④ 自然保育について

評価項目	取組状況と結果	
本園の教育目標を取り入れた保育計画を立てて保育を行うことができたか。	今年職員の子ども主体の幼児教育への理解が進み、保育等いい方向で変わってきていると考えている。劇遊びや、感覚遊びなど今までにない保育を考えて行うことが出来た。このままいい形で変化し続けることが出来ればよいと考えている。	A B C D
コロナウイルス感染予防の実施。	2年目という事もあり子どもたちも職員も対策に慣れてきた部分が出てきた。クラスター等起こることもなく安全に園の運営を行う事が出来たと考えている。現在感染者も非常に少なくなっている。このまま正常化出来ればいいが、新しい変異が起こっており今後も様子を見ながら対応していきたいと考えている。	A B C D
自園給食、食育に対する取り組みについて。	今年田植えの前の苗作りから始まり稲刈りや脱穀まで子どもたちで行うことが出来た。子どもたちもお米がどうやって出来るのか実感を持って学び、味わうことが出来た。園内の畑ではサツマイモの苗植えから収穫まで行うことが出来、おうちに持って帰ることが出来、食育につながった。	A B C D
自然保育について。	以前から行っている森のムッレ教室は、今年は最後の葉緑素の話まで行えた。また、ビオトープの奥に落ち葉を入れてミミズやダンゴムシが土にしてくれるというのもうまく行って子どもたちの理解も進んだと思う。上西郷川に遊びに行ったのは園外のリソースも使って自然を沢山感じる事が出来、自然の大切さを子どもなりに理解出来た。	A B C D

本園の総合的な評価結果と今後の課題

重点的に取り組む評価項目については職員会議などを通してそれぞれ自己点検・自己評価を行なった。

● 子ども主体の保育について、職員の理解が進んできたようで保育の内容も変わってきていると感じた1年であった。今後もこの様に変わっていきたいと考えている。職員が試行錯誤する、自分で考える、勉強するという事は重要である。コロナの問題が収束すれば他の園に見学に行くなどして他園の実践を見学する等して見識を高めて、今後も質の高い保育を目指していきたいと思う。

● 今年度初めて上西郷川に川遊びに行くという事を年中、年長で行った。今まで園内の自然を活かした保育はあったが園外に出た事で豊かな経験につながったと考えている。今後もこの活動は続けていきたいと考えている。出来れば1年度中に2回は行けるようにしたい。最初と2回目では生き物の取り方など大分違って川での遊び方が上達したと思う。経験を重ねる事で園外の自然にも親しんでほしい。森のムッレ教室もプログラムの最後の葉緑素の話まで出来た事で子どもたちの理解も深まったと考えている。子どもの頃の自然体験が将来の社会が持続可能な社会になるように考える際に必要だと思う。2つの活動ともに継続して行っていきたいと考えている。

● 年長は7月に今年も夏祭りを行った。子どもたちの話し合いやアイデアを元に今年なりに行ったことは子ども達の主体性や意欲、人間関係能力等を引き出す保育になったと思う。2学期もその続きでみんなで話し合った競技を行ったことは、これからの幼児教育にふさわしい共同的な学びにつながったと考えている。今後も年長の1学期にはこういった保育を行うようにし、園内に泊るという職員の労働環境が悪い保育は変えてきたい。

● 今年からドキュメンテーションとしてクラスだよりのようなものを月2回配信するようになった。今まで文書だけで伝わりにくかった部分が可視化され分かりやすくなったと思う。今後保護者へのお知らせ等はこの様な形になっていくと思う。しかし職員の作業時間の長さが問題であると考えている。作成にかかる時間を今より減らしてどのような物が出来るのか、今後の在り方を検討したい。

● 職員の仕事のマイナスを考えなければならないと思う。今でも長時間労働は本質的に変わっていない。これまでも掃除を委託する等、色々仕事時間の削減行ってきた。今やっている仕事で形骸化しているもの、他の事で代わりになる事や、減らす仕事を考えていかなければならないと考える。労働環境の改善を行っていかないと人材不足の中で質の高い職員を採用し続ける事が困難になると考える。

今年度は以上の通り自己評価します。

しらぎく幼稚園

園長 塩川陽二